

長期戦略:テーマ 「特長ある一貫教育の創出」

提出日 2022年 8月 24日

担当部署

II.実施計画帳票

長期戦略テーマの責任者 (統轄部署)	林常任理事 (一貫教育) (総務部)	実施計画の 担当部署	総務部
-----------------------	--------------------------	---------------	-----

1. 実施計画

実施計画(タイトル)	取組開始	達成状況 確認年度	学部・研究科での 取組み有/無	帳票
4-(4)-① 初等部、中学部、高等部、千里国際における連携強化	2019年度	2024年度	必要なし	不要
内容				
<p>16年に亘る関西学院の一貫教育をより特色づけるために、中学部・高等部と千里国際中等部・高等部(SIS)との教育連携を深める。中学部・高等部からは「キリスト教主義」に基づく精神とスクールモットー‘Mastery for Service’の教えを伝え、SISからは、大阪インターナショナルスクール(OIS)が併設されている特長を活かし、英語を共通語とした「世界市民」としての意識づけを強化する。また、初等部在籍時に、中学部教職員、SIS教職員より各学校の特色を説明し、上ヶ原コース(中学部・高等部)、千里国際コース(SIS・OIS)への意識的な学校選択を促す。また「K.G.キャリア教育」を高等部、SISで実施する。有名企業に勤めるOBOGや起業家と接することにより、高校生の段階からキャリア意識を向上させる。</p> <p>「初等部、中学部、高等部、千里国際における連携強化」と「キャリア教育」を関連づけていたが、キャリア教育の主管部署がキャリアセンターに移管されたこと、また、コロナ禍によりキャンプ実施が難しいこと、キャリア教育以外のテーマで連携できる可能性が出てきたことにより、2022年度より方向性を見直す。新たな取り組みとして、中学部、高等部、SIS、啓明学院の生徒を集めて院長主催の懇談会を実施し、横の連携を強化する取り組みを実施する。また、カーボンニュートラル推進に関する取り組みについては、幼稚園から大学までの縦の連携のもと、学院をあげて取り組むことが決定したため、このテーマをキーに連携をはかる。</p>				
進捗状況を測る指標	指標名	定義・算式		
指標1	有名400社への内部進学者 実就職率	内部進学者・400社就職者数÷[内部進学者卒業(修了)者数-大学院進学者数]×100		
指標2	連携強化のための取り組み 数	連携強化のための取り組み数		
指標3				

目標1<指標1>有名400社への内部進学者実就職率

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
目標	高等部 45% SIS 30%	高等部 45% SIS 30%	高等部 45% SIS 30%	キャリア意識向上セミナー 実施5年目以降(内部生 が卒業1年目) 高等部 50%以上 SIS 40%以上	高等部 50%以上 SIS 40%以上	高等部 50%以上 SIS 40%以上
実績	高等部 43.5% SIS 41.2%	高等部 40.6% SIS 17.1%	高等部 38.3% SIS 31.7%			

目標2<指標2>連携強化のための取り組み数

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
目標				連携強化のための取り組み について検討・実施	2022年度の取り組みに ついて検証・実施	2023年度の取り組みに ついて検証・実施
実績						

目標3<指標3>

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
目標						
実績						

2. ロードマップ

		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
有名400社への内部進学者実就職率の向上	策定段階	キャリア意識教育に関する各校へのヒアリング	高等部、SIS 高等部生に対するキャリア意識教育実施	高等部、SIS 高等部生に対するキャリア意識教育実施			
	2023年3月末段階	—	—	実施されていない。	—	—	
			2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	—
	策定段階						
	2023年3月末段階	—					
		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
横の連携、縦の連携につながる取り組みを実施する	策定段階				取り組み内容を検討、実施	2022年度の取り組み内容を検証し、継続実施	
	2023年3月末段階						
			2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	—
	策定段階	2023年度の取り組み内容を検証し、継続実施					
	2023年3月末段階						

3. 費用計画・人員計画

【費用・人員を必要とする理由】

非公開

経費 単位:万円	2019年度承認	2020年度承認	2021年度承認	2022年度承認	2023年度承認	2024年度	左記以降
----------	----------	----------	----------	----------	----------	--------	------

非公開

人員・人件費 単位:万円	2019年度承認	2020年度承認	2021年度承認	2022年度承認	2023年度承認	2024年度	左記以降
--------------	----------	----------	----------	----------	----------	--------	------

非公開

4. 進捗状況・得られた成果

2019 年度	年内に高等部長、SIS 校長から承認を得られたため、スノーピークと学生との合同キャンプの利用実績がある KSC スカイガーデンで、K. G. キャリアキャンプ実施をシミュレーションしたが、新型コロナウイルス感染予防から、計画を取りやめた。
2020 年度	コロナ禍で引き続き合宿セミナー実施が現実的ではないため、高等部はスキー合宿中止に伴い、その代替イベントとして3/9に「世界市民として活躍するために」という題目で高2生380名を対象に対面で（中央講堂）、またSISは社会科の授業の中で、12/18、1/22、23、2/19の4日間「グローバルにビジネスを行うには」という題目で高3生23名を対象にオンラインで、キャリア意識向上セミナーを実施した。
2021 年度	コロナ禍で引き続き合宿セミナー実施が現実的ではなかった。
2022 年度	
2023 年度	
2024 年度	

5. 今後の課題及び方向性

2019 年度	高校生対象キャリア意識向上セミナー（1泊2日）を、KSCで実施する可能性も考える。
2020 年度	新型コロナウイルス感染予防のためには、合宿方式ではないセミナー（遠隔や対面での集中授業など）も考える必要がある。
2021 年度	引き続き感染予防のため合宿形式のセミナー実施は慎重に判断されなければならない、対面及びオンラインでのセミナー実施を考える。
2022 年度	「初等部、中学部、高等部、千里国際における連携強化」と「キャリア教育」を関連づけていたが、キャリア教育の主管部署がキャリアセンターに移管されたこと、また、コロナ禍によりキャンプ実施が難しいこと、キャリア教育以外のテーマで連携できる可能性が出てきたことにより、方向性の見直しを行った。新たな取り組みとして、中学部、高等部、SIS、啓明学院の生徒を集めて院長主催の懇談会を実施し、横の連携を強化する取り組みを計画している。また、カーボンニュートラル推進に関する取り組みについては、幼稚園から大学までの縦の連携のもと、学院をあげて取り組むことが決定した。大きく方向性を変更して横の連携、縦の連携をはかる。指標についても別の指標に置き換える必要がある。
2023 年度	
2024 年度	

6. 学院総合企画会議の基本方針

2018年度	—
2019年度	院内高校生を対象とするキャリア教育セミナーの実施を認めます。ただし、本セミナーが単発イベントとならないよう、中長期的且つ総合的な計画の一環として実施する必要があります。セミナー講師費用については保留とし、内容詳細が定まった段階で、将来構想推進 WG における承認を得た上で、予算外申請してください。
2020年度	—
2021年度	—
2022年度	—
2023年度	
2024年度	

7. Total Review の結果

【フェーズ I (2019~2021)】

レビュー結果	可否	備考 (継続:「フェーズ II に向けた課題」 廃止:その理由と今後の方向性)
<ul style="list-style-type: none"> ・初中高千里を通貫したプログラムの立案は進んでいない。 ・高校生を対象とした「ハイスクールキャリアゼミ(仮)」も具体的内容の検討段階で実施できていない。 	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ 廃止	<ul style="list-style-type: none"> ・同左

【フェーズ II (2022~2024)】

レビュー結果	可否	備考 (継続:「フェーズ II に向けた課題」 廃止:その理由と今後の方向性)
	継続 ・ 廃止	